

平成30年度 教員・教育担当者養成課程 看護コース カリキュラム

1 本コースの位置付け

本コースは、看護専門学校の専任教員を養成するために、厚生労働省が示している「専任教員養成講習会実施要領」に即して、神奈川県が厚生労働省の認定を受けて実施するものです。

また、専任教員養成講習会の修了により、保健師・助産師・看護師の実習指導者としての資格も認められます。

2 eラーニング科目の選択について

平成25年度から、専任教員養成講習会の受講を促進するために、厚生労働省の教材によるeラーニング科目の受講が認められました。本コースでも、平成27年度よりeラーニング科目を選択することが可能となっています。

eラーニング設定科目は5科目で、1科目から選択することができます。入学後にeラーニング科目を選択し、履修登録をした後は、途中で変更することはできません。選択希望者には、パソコンの基本的な知識や、主体的に計画性をもって学習する姿勢が求められます。

3 授業時間・日程と修了要件

(1) 授業時間・日程（予定）

	必修科目	看護選択科目	介護選択科目
全科目 通学の場合	855 時間		
eラーニング 科目選択の場合 (例：*5科目選択)	765 時間（通学） *90 時間（eラーニング）	60 時間	75 時間
授業時期	平成30年4月～12月 (4月：3日程度、11月：実習中心)	平成30年8月～ 平成31年3月	平成30年6月～ 平成31年1月

① 4月の予定について

- ・ 入学式およびオリエンテーション
- ・ 宿泊を伴う授業「人間関係論1」 1泊2日
- ・ eラーニング科目選択者のみeラーニングガイダンスが1日追加されます。

※ 厚生労働省が年度毎にeラーニング運営会社を決定することとなるため、4月下旬には、受講開始が可能となる見込みです。

② 看護教育実習について

看護教育実習は、指定された看護師等養成校において実施します。

6～9月に半日単位で数日あり、10月下旬～11月は看護教育実習中心となります。

③ eラーニング科目を選択した場合の通学について

eラーニング科目選択者は、平成30年4月下旬以降、自宅・職場等でeラーニング設定科目の受講を進めながら、5月中旬～12月（5～6月は週3～4回、7月以降は毎日）は通学してeラーニング設定のない科目の授業を受講することが必須となります。（看護教育実習は②と同じ）

なお、看護選択科目・介護選択科目を選択する場合には、選択した科目に応じて通学が必要です。

(eラーニング科目は、他の必修科目の進捗との関係上、平成30年9月末には終了するよう、自宅や職場などで時間を有効活用し、計画的に受講することが必要です。)

(2) 科目区分

必修科目：卒業するために必ず履修しなければならない科目です。

選択科目：卒業要件とは関わりなく、選択する科目です。

看護選択科目：看護教員として、より専門性を高めるために設定している科目。

介護選択科目：看護教員として、より視野を広めるために設定している科目。

(3) 修了要件

専任教員養成講習会の修了には、必修科目の全科目について、当該科目授業時間数 2/3 以上の出席と学修結果の評価により、科目履修認定を得ることが必要です。

(看護選択科目・介護選択科目は専任教員養成講習会の修了には関係しません。)

eラーニングの科目履修認定については下記のとおりです。

なお、eラーニング設定科目の内容等については、P8を参照してください。

【eラーニング設定科目 (5科目 90時間分) の履修認定】

- 1時間分につき 1コンテンツ＝講義 (視聴時間 20～30分程度) + 確認テスト
 - ・ 講義に即したテキストが併せて提供されるので、ダウンロードを行う。
 - ・ コンテンツ 1回ごとに確認テストを受ける。
(確認テストはプールされた問題からランダムに出題され、何回でもテストを受けられる。)
 - *例：5科目 (90時間) 選択した場合は、90回の確認テストを受けることになる。**

 - 1単位＝15コンテンツまたは 30コンテンツ
 - ・ 当該科目の全コンテンツの視聴と確認テスト終了後、科目履修認定テストを受ける。
 - ・ 科目履修認定テスト
60%以上の正答率で合格。2回不合格の場合は、レポート課題提出を求める。
レポートはチューターが内容を確認し合否を決定する。
※チューターはeラーニング運営会社が配置し、受講者からの質問等に対応する。
- (注) eラーニング科目で履修する場合、科目履修認定テストを受ける前に、以下が必要となる。
- ・ 1科目 (15時間) の場合：15回のコンテンツ視聴・確認テスト
 - ・ 1科目 (30時間) の場合：30回のコンテンツ視聴・確認テスト

4 介護教員講習会との関係

専任教員養成講習会を修了することで、介護福祉士養成校の専任教員の要件となる介護教員講習会（300 時間）における基礎分野（60 時間）、専門基礎分野（90 時間）が免除となります。そして、残りの専門分野（150 時間）のうち介護福祉学、コミュニケーション技術については、選択科目として介護選択分野で履修できるようになっています。

また、教員・教育担当者養成課程 介護コースとの共講科目があり、介護教員を目指す方々と講義や演習での学びを通して、相互理解を深めることができます。介護と看護の連携・協働に関する新たな価値観に気づき、視野を広げることで、実践活動へのヒントを得ることができます。

5 カリキュラムの概要

【教育目的】

看護教育に必要な知識・技術を習得し、広い視野と豊かな人間性を養い、看護教育に貢献できる人材を育成する。

【教育目標】

- 1 看護教育の概念及び実践の過程を明確にし、マネジメントの視点を踏まえた効果的な教育活動を展開できる。
- 2 人間の本質に対する認識を深め、主体的に人間関係を展開できる。
- 3 看護の概念を明確にし、看護実践能力を高め、看護の専門性を追求できる。
- 4 看護教育における研究の必要性を理解し、実践の中で研究的態度がとれる。

【教育内容】

(注意事項)

- ・ ○○○○○ のように、四角囲いがある科目はeラーニングの設定科目(計5科目)です。
- ・ 時間数について()で表示してある部分はeラーニング科目の設定時間数です。
- ・ eラーニングの科目内容については、P8を御参照ください。

(多少変更することがあります。)

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	単位	内容	ねらい
基礎	ヒューマンサービス論 (必修)	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンサービスの理念 ・ケアの本質 ・ヒューマンサービスのためのマネジメント論 ・アサーティブコミュニケーション 	保健・医療・福祉の連携と総合化の基本理念を学び、人間を全体(総体)として捉えるケアの本質について探究する。
	人間関係論1 (必修)	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自然散策 ・目をつむってみて ・群像 <p style="text-align: right;">など</p>	ひと・もの・こととかがわることをとおして「経験」の意味、自分であるとはどういうことか他者とかがわるとはどういうことか探究する。
	哲学 (必修)	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・近代哲学から現象学へ ・理性から生活世界へ ・人間存在と時間 ・共同存在としての人間 ・ケアの人間学的意味 ・スピリチュアルケア 	現代における人間の捉え方を理解し、あわせて学問の本質的意義について学ぶ。
	生命倫理学 (必修)	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・生命倫理学の基本的な考え方 ・出生をめぐる倫理問題 ・終末期をめぐる倫理問題 ・医療資源の配分をめぐる倫理問題 	現代社会が抱える生命倫理上の課題に対して倫理的原則を見つめながら、自分の拠所となる考えを持ち実践できる。
	論理学 (必修)	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・認識原論 ・表象的認識論 ・概念化をめぐる ・認識三論 	認識の三段階連関理論を学び、論理的に思考する能力を高める。
	小計 (eラーニング設定科目)	75 (0)	5 (0)		

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	単位	内容	ねらい
教育	教育原理 (必修)	30 (30)	1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の思想 ・人間形成における教育の役割 ・教育と社会の関係 ・成人学習 	教育の思想、人間形成における教育の役割、教育と社会の関係など教育の基本理論と仕組みについて学び、現代社会の抱える教育問題の本質を考察する。
	教育方法 (必修)	30	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方法 ・授業のしくみとはたらき ・ねがいと授業目標の明確化 ・授業目標の明確化と教育評価 ・教材の研究と理解 ・教授方略 ・学習者の実態把握 ・学習環境・条件 ・授業のデザインと授業研究 	授業のしくみとはたらきについて理解し、授業をデザインする具体的方法を学ぶことで、教育実践の本質を考える。
	教育心理学 (必修)	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教育心理学とは何か ・学習と動機づけ ・学級集団をめぐる指導 ・問題行動への対処・指導 	個人と環境に応じた教育に必要な心理学的知見を理解するとともに、教育を検討するひとつの方法として教育心理学的な見方を獲得する。
	教育評価 (必修)	15 (15)	1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・評価を考える視点 ・教育活動と評価 ・学生による授業評価 ・カリキュラム評価、学校評価 	教育における評価の概念を捉え直し、教育実践と評価の関係を考察する。
小計 (eラーニング設定科目)		90 (45)	4 (2)		

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	単位	内容	ねらい
専門 看護専門	看護論 (必修)	30	1	<ul style="list-style-type: none"> ・看護概論 ・人間関係の看護論 ・ロイ適応看護モデル 	人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、これまでの実践における経験を意味づけながら自己の看護の哲学を明確にする。
	看護概念化論 (必修)	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・看護現場学(看護概念化論)誕生のプロセス ・看護現場学の構造と方法について学ぶ ・概念化することによる成果について 	自己の看護実践から、自分自身の臨床の知を探究する。
	看護論演習 (必修)	30	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイ適応モデル看護理論に関する演習 	ロイ適応看護モデルの看護理論を活用しながら、ペーパー・ペーシェント事例を検討する過程で、より質の高い看護を実践する手立てを模索する。
小計 (eラーニング設定科目)		75 (0)	3 (0)		

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	単位	内容	ねらい
専門 看護教育専門	看護教育論 (必修)	15	1	・看護教育を学ぶ自己の課題 ・看護教育を考える	看護教育のあり方について考え、自己の看護教育観をはぐくむ。
	看護教育制度 (必修)	15 (15)	1 (1)	・保健医療福祉の動向 ・看護教育制度 ・生涯教育	看護教育制度の変遷と現在の教育制度について理解する。
	看護教育課程論 (必修)	45	2	・看護教育課程概論 ・看護基礎教育の教育課程	看護教育課程の概念を明らかにし、看護教育課程編成並びに看護学全体の構造を理解する。
	看護教育課程演習 (必修)	60	2	・看護教育課程編成のプロセス ・各看護学領域における主要概念 ・教育目標・教育内容	看護教育課程編成のプロセスを学び、看護教育展開の過程に役立てることができる。
	看護教育方法 (必修)	90	3	・看護教育方法(概論) ・看護学生の理解 ・学生指導・教育相談 ・講義法・演習・臨地実習指導 ・基礎教育と臨床との連携 ・授業研究・現任教育計画	看護職に必要な能力を育成するための看護教育方法について考察する。
	看護教育方法演習 (必修)	90	3	・マイクロティーチング ・ロールプレイ ・ディベート	看護教育方法及び看護教育方法演習の学習内容とその関連について理解し、看護教育を実践していく手立てを学び、看護教育展開の過程に役立てる。
	専門領域別看護論 (必修)	15 (15)	1 (1)	・看護の統合と実践 ・在宅看護論	統合分野(看護の統合と実践・在宅看護論)における構造とその内容を理解する。
	専門領域別看護論演習 (必修)	60	2	・授業デザイン ・看護の統合と実践(演習)	看護教育実習において担当する各看護学についての教育目標、教育方法について理解し、授業デザインを学ぶ。看護の統合と実践を、演習を通して授業展開に役立てる。
	看護教育実習 (必修)	90	2	・学習指導案作成 ・講義法による授業とリフレクション ・臨地実習指導	看護基礎教育の実際を体験する中から、看護教育実践の基本的事項を習得し、看護教育能力を発展させるための課題を明らかにする。
	看護教育評価 (必修)	30	1	・看護教育評価概論 ・授業評価	看護教育評価を学び、効果的な看護教育との関連を考える。
	看護教育評価演習 (必修)	30	1	・看護技術における評価規準と評価基準の作成 ・看護技術の評価方法	看護技術教育評価のプロセスを学び、看護教育展開の過程に役立てることができる。
	看護学校経営 看護学校管理 (必修)	15 (15)	1 (1)	・看護学校経営と看護学校管理 ・看護学校の組織づくりと管理体制 ・看護教育課程編成と実践 ・指導要領に基づく書記録と管理 ・看護学校経営評価 ・これからの看護学校経営の課題	学校教育全般を理解し、看護学校管理概論、看護学校経営の意義と方法、及び関連法規を理解し、教員としての役割である看護学校経営のあり方を学ぶ。
	小計 (eラーニング設定科目)	555 (45)	20 (3)		

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	単位	内容	ねらい
専門 研究	看護研究方法 (必修)	30	1	・研究デザイン ・研究方法 文献研究 クリティーク 事例研究 質的研究 調査研究	看護研究に必要な基本的な知識を学び、看護研究に取り組む一連のプロセスを理解することで研究的態度を培う。
	看護研究方法 演習 (必修)	30	1	・研究倫理 ・文献検索演習 ・統計処理演習 ・事例研究演習	事例研究に取り組む一連のプロセスを体験することで、研究的態度を培う。
	小計 (eラーニング設定科目)	60 (0)	2 (0)		

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	単位	内容	ねらい
看護 選択	看護研究計画演習 (選択)	30	1	・研究計画書作成 ・研究のプレゼン・抄録作成方法 ・研究計画発表	看護研究に取り組む一連のプロセス(リサーチクエスションの明確化から研究計画書完成まで)を体験することで研究的態度を培う。
	新しい看護教育 方法の動向 (選択)	15	1	・シミュレーション教育 ・ICTの活用 ・TBL(チーム基盤型学習)	看護教育に導入されつつある新たな教育方法について学び、現場での今後の活用検討に資する知識・技術を得る。
	人間関係論2	15	1	・バランスの取れた休息 ・与えること受け取ること ・シェアリング など	1年間の経験を振り返り、「経験」の意味、自分であるということはどういうことか、他者とかかわるとはどういうことか探究する。
	小計 (eラーニング設定科目)	60 (0)	3 (0)		

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	単位	内容	ねらい
介護 選択	社会福祉学 (選択)	30	—	・社会福祉の成り立ち ・社会福祉の現状と課題 ・ケアワークとソーシャルワーク ・社会福祉専門職の位置づけ	社会福祉の意義、理念や基盤となる制度について学ぶとともに、地域福祉の確立の必要性を理解し、社会福祉援助技術の概要とその動向について学ぶ。
	介護福祉学 (選択)	30	—	・介護福祉の概念 ・介護福祉の成立と進展 ・関連領域との共通性と固有性 ・海外における介護福祉の動向	介護及び関連する学問領域から幅広く、介護について学び、介護福祉士の専門性について理解する。
	コミュニケーション 技術 (選択)	15	—	・コミュニケーションの基本理念・理論 ・人間関係とは ・言語的・非言語的コミュニケーション技術について ・人間関係のダイナミズム	人間関係におけるコミュニケーション技術について学ぶ。
	小計 (eラーニング設定科目)	75 (0)	—		

【参考】 e ラーニング設定科目の教育内容・担当講師〈厚生労働省資料による〉

(内容・担当講師は多少変更することがあります)

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	単位	内容	担当講師
教 育	教育原理 (必修)	30	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育」の本質—「教育とは何か」 ・教育の目的—「教育は何をめざすか」 ・教育の理論と看護の理論 ・教育課程の基礎理論 ・教育課程論の系譜 ・カリキュラム開発 ・学校とカリキュラム ・カリキュラムと教師の専門性 ・教育制度 ・学習指導要領と教科書 ・教職員と学校の運営 	田中 每実 細川 和仁 浅田 匡 勝野 正章
	教育評価 (必修)	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教育評価の基本的考え方 ・教育目標の分析 ・教育評価の主体・対象・意義 ・教育評価の心理的機能 ・教育評価と授業実践 ・教育評価と教師の成長 	浅田 匡
専 門 専 門	看護教育 制度 (必修)	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な概念 ・看護教育制度の歴史的変遷 ・現在の看護教育制度とその課題 ・看護教育制度の課題と展望 	平河 勝美
	専門領域 別看護論 (必修)	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護学 ・成人看護学 ・老年看護学 ・小児看護学 ・母性看護学 ・精神看護学 ・在宅看護論 ・国際看護 ・災害看護 ・医療安全 ・看護管理 	阿曾 洋子 明石 恵子 百瀬 由美子 筒井 真優美 村上 明美 宮本 真巳 山田 雅子 田代 順子 小原 真理子 川村 治子 上泉 和子
	看護学校 管理 (必修)	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学校管理の基本 ・看護学校運営に関する指導要領及び手引き ・看護学校の組織と運営 ・看護学校における管理の概要 ・看護学校経営評価 ・看護学校経営の展望 	齊藤 茂子